

シネラ・ニュース
June 2023



ぼくはひとりぼっち



土曜の午後に



根のない樹

通常
上映

6月8日(木)
~18日(日)

モルシェドウル・イスラム監督作品を中心に
総合図書館収蔵のバングラデシユ映画の特集

バングラデシユ映画の世界

通常上映 6月1日(木) ~7日(水) 土本典昭 & 原一男監督の総合図書館収蔵作品の特集

ドキュメンタリー作家二人展



水俣 患者さんとその世界



ゆぎゆぎで神軍

通常上映 6月21日(木) ~25日(日) 総合図書館収蔵の実験映画の特集

実験映画 コレクション展 Vol.1



伝説の午後・いつか見たドラキュラ



トマトグッチャップ皇帝

通常上映
監督の総合図書館
収蔵作品の特集
土本典昭&原一男

ドキュメンタリー作家 二人展

会期：6月1日(木)～7日(水) ※休館日・休映日除く
観覧料：500円(大人) 400円(大学生・高校生)
300円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。
※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。(チケットの販売は上映の1時間前からです。)
※障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。(手帳や保険証などの原本の提示が必要です。)
※「わたすクラブ」会員の方は250円。(会員証の原本の提示が必要です。)

1 木 11:00 3 土 11:00



監督：土本典昭

ある機関助手

上野から水戸まで蒸気機関車を運転する機関助手の仕事を記録した作品。62年に三河島で鉄道事故が起きた。国鉄は鉄道の安全性をPRする目的で本作を製作したが、映画は逆にダイヤの過密さと労働の厳しさを描き出す結果となった。土本典昭の初監督作品。

1963年 / 16ミリ / カラー / 37分 / 岩波映画

留学生 チュア スイリン



監督：土本典昭

「留学生 チュア スイリン」は、千葉大学に在籍するシンガポールからの国費留学生チュア・スイ・リンが反政府抗議行動をとったことで大学を除籍された問題を扱った土本監督初の自主制作ドキュメンタリー。

1965年 / 16ミリ / モノクロ / 51分 / 藤プロダクション

1 木 14:00 4 日 14:00



監督：土本典昭

水俣 患者さんとその世界

69年に、水俣病の原因となったチッソ株式会社を相手取り、訴訟を起こした患者たちを中心にしたドキュメンタリー。土本監督は裁判の過程を追いながら、患者たちがこの地域でどのように生活してきたかを記録。単なる告発ではなく、住民たちへの愛情がこもった作品とした。世界各国に大きな衝撃を与えた傑作。

1971年 / 16ミリ / モノクロ / 167分 / 東プロダクション

3 土 14:00 7 水 11:00



監督：土本典昭

不知火海

水俣病の発見後の患者の現状、病気としての水俣病、そして裁判での闘争を描いてきた土本監督が水俣湾を取り囲む不知火海に眼を広げた作品。本作は不知火海の特徴やその風土、そこに生きる人々の生活までも記録した作品で、土本監督の水俣病を描いた作品の一つの集大成ともいえる内容になっている。

1975年 / 16ミリ / カラー / 154分 / 青林舎

2 金 11:00 4 日 11:00



監督：原一男

ゆきゆきて神軍

主人公の奥崎謙三は、第二次大戦中ニューギニアに派遣され、千数百名の兵士の中で生き残った30数名の一人となった。戦後奥崎は天皇の戦争責任を叫び、神軍平等兵」と名乗って活動続ける。戦争という極限状態の中で人間の在り方などを問いつける奥崎の行動を記録した本作は、大きな衝撃となった。原監督は日本映画監督協会新人賞など多くの映画賞を受賞した。

1987年 / 35ミリ / カラー / 121分 / 疾走プロダクション

2 金 14:00 7 水 14:30



監督：原一男

全身小説家

作家の井上光晴(1926年～92年)が痛によりなくなるまでの最後の5年間を記録したドキュメンタリー映画。全国で彼が朝いた文学伝習館での活動、生徒たちとの交流、交友があった作家仲間たちの証言などが含まれている。映画はさらに彼の子ども時代や親族などへのインタビューを通して、虚構と現実が混在する彼の経歴をスリリングに解き明かしていく。

1994年 / 35ミリ / カラー / 156分 / 疾走プロダクション

通常上映 総合図書館収蔵の実験映画の特集

実験映画 コレクション展 Vol.1

当館収蔵の実験映画コレクションを製作年度順に紹介。日本の実験映画の歴史を追体験できるプログラム。

会期：6月21日(水)～25日(日)
観覧料：500円(大人) 400円(大学生・高校生)
300円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。
※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。(チケットの販売は上映の1時間前からです。)
※障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。(手帳や保険証などの原本の提示が必要です。)
※「わたすクラブ」会員の方は250円。(会員証の原本の提示が必要です。)

プログラム1
1961年～1967年(116分)

21 水 11:00 23 金 14:00

へそと原爆 監督：細江英公
1961年 / 16ミリ / モノクロ / 15分

石の詩 監督：松本俊夫
1963年 / 16ミリ / モノクロ / 24分

LOVE 監督：飯村隆彦
1963年 / 16ミリ / モノクロ / 10分

ひなのかけ 監督：高林陽一
1966年 / 16ミリ / モノクロ / 19分



円 監督：今井祝男
1967年 / 16ミリ / モノクロ / 4分

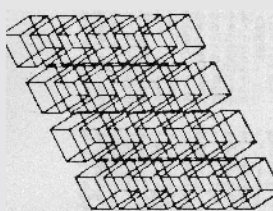
幻影都市 監督：島村達雄
1967年 / 16ミリ / カラー / 5分

伝説の午後-いつか見た
ドラキュラ 監督：大林宣彦
1967年 / 16ミリ / カラー / 39分

プログラム2
1967年～1970年(91分)

21 水 14:00 24 土 11:00

風靡の技法 監督：山田学、月尾嘉男
1967年 / 16ミリ / モノクロ / 3分



猶予、もしくは影を撫でる男 監督：奥村昭夫
1967年 / 16ミリ / モノクロ / 26分

おかしさに彩られた恋しみのバラード 監督：原正孝
1968年 / 16ミリ / モノクロ / 12分

かけ 監督：林静一
1968年 / 16ミリ / カラー / 4分

OH! MY MOTHER 監督：安藤敏平
1969年 / 16ミリ / カラー / 13分

イン・ザ・リバー 監督：飯村隆彦
1969年 / 16ミリ / モノクロ / 17分



シンジクステーション 監督：城之内元晴
1970年 / 16ミリ / モノクロ / 16分

プログラム3
1970年～1973年(96分)

22 木 11:00 24 土 14:00

トマトケチャップ皇帝 監督：寺山修司
1970年 / 16ミリ / モノクロ / 27分

GRAPHILM 監督：野村仁
1970 16ミリ / モノクロ / 18分

SHE 監督：田名網敬一
1971年 / 16ミリ / カラー / 9分

NO PERFORATIONS 監督：奥山順市
1971年 / 16ミリ / カラー / 10分

KIRI 監督：萩原朔美
1971年 / 16ミリ / モノクロ / 7分

通常上映 モルシェドゥル・イスラム監督作品を中心に総合図書館収蔵のバングラデシュ映画の特集

バングラデシュ映画の世界

会期：6月8日(木)～18日(日) 観覧料：500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

※休館日・休映日除く


※定員制。各回入替制。 ※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。(チケットの販売は上映の1時間前からです。)

※障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。(手帳や保険証などの原本の提示が必要です。) ※「わたすクラブ」会員の方は250円。(会員証の原本の提示が必要です。)

8 **16** **木** 11:00 **金** 11:00

車輪

The Wheel




牛車に乗って稲の収穫の手伝いに来た2人の男が、診療所で呼び止められる。よその村から来た若者が死んだので出身の村まで運んでほしいと頼まれる。ところが村では死んだ男は村の者ではないと言われ、2人は死体を乗せて延々と旅することになる。不条理劇のような作品で、各国映画祭で大評判となり、一躍イスラム監督は有名になる。

監督：モルシェドゥル・イスラム
出演：アミール・ホク・チョードリ、アシュ・コンドカール 日本語・英語字幕付き
1993年 / 35ミリ / カラー / 65分 / バングラデシュ

8 **17** **木** 14:00 **土** 14:00

転校生

Dipu Number Two



ある街にディプーという12才の少年が転校してくる。ディプーはクラスのカキ大将タリクにいじめられるが、負けず嫌いで頭のいい彼は、クラスのみなを説得して逆にタリクを仲間はずれにしてしまう。そして二人はお互いを認め合うようになる。バングラデシュでベストセラーとなった青少年向け小説の映画化作品。

監督：モルシェドゥル・イスラム
出演：オルン・シャハ、ブルブル・アハメド 日本語・英語字幕付き
1996年 / 35ミリ / カラー / 155分 / バングラデシュ

9 **18** **金** 14:00 **日** 14:00

苦難の大地

Dukhai



ドウカイは4人家族だったが、1970年サイクロンによる洪水で家を失い、また彼以外の家族全員が死んでしまう。やがて彼は結婚し女の子も生まれる。子どもが成長しもうすぐ結婚という時、再びサイクロンに襲われ、またドウカイだけが生き残るのだった。バングラデシュのサイクロン被害の悲惨さを描いた作品で、日本との合作という珍しい作品。

監督：モルシェドゥル・イスラム
出演：ライスル・イスラム・アサド、アミール・ホク・チョードリ 日本語・英語字幕付き
1997年 / 35ミリ / カラー / 128分 / バングラデシュ=日本

9 **17** **金** 11:00 **土** 11:00

根のない樹

A Tree without Roots




田舎の村にモジドという男がやってくる。森の中に朽ち果てた墓を発見したモジドは、聖人の墓だと言ってお祈りを始める。半信半疑だった村人も次第に供物を供えるようになる。原作の小説はバングラデシュの小学校の教科書にも載っている有名なもの。宗教の欺瞞性がコメディのように描かれており、世界各国の映画祭で注目された傑作。

監督：タンビール・モカンメル
出演：ライスル・イスラム・アサド、ムニラ・ユスフ・メミ 日本語・英語字幕付き
2001年 / 35ミリ / カラー / 113分 / バングラデシュ

10 **14** **土** 14:00 **水** 14:00

ラロン

Lalon




ラロンは各地を旅しながら歌を作っていた。ある日疫病にかかりイスラム教徒の村で助けられる。その村で土地を与えられたラロンは、ワルの思想と歌を極めていく。ラロン・フォキルは19世紀の真在の人物で、世界的に著名な歌手・哲学者であり本作は彼の生涯を描いた作品。ワルとはベンガル地方に伝わる哲学で、教を歌で伝えるという特徴がある。本作は映画のほとんどがワルの歌で占められている。

監督：タンビール・モカンメル
出演：ライスル・イスラム・アサド、ヤミン・タマンナ・ティティ 日本語・英語字幕付き
2004年 / 35ミリ / カラー / 132分 / バングラデシュ

10 **15** **土** 11:00 **木** 11:00

ぼくはひとりぼっち

The Alienation



プトゥルはグッカに住む裕福な家庭の少年。しかし両親は忙しくいつも孤独だった。ある日家を抜け出したプトゥルはオントウというストリートチルドレンに出会う。彼らの自由な生活にあこがれるプトゥルは行動を共にするのだった。子ども向けとして作られた作品だが、登場人物たちの交流の中にバングラデシュの貧富の差などの社会問題が描かれる。

監督：モルシェドゥル・イスラム
出演：ファハド・オメル 日本語・英語字幕付き
2004年 / 35ミリ / カラー / 91分 / バングラデシュ

11 **15** **日** 14:00 **木** 14:00

人形の家

Dollhouse



1971年のバングラデシュ。ヤクブは田舎の大学で講師をしていたが、ある日首都グッカの友人から従妹のレハナを預かってほしいと頼まれる。レハナはしばしば精神的に不安定になり、ヤクブはやむなく村はずれの廃墟で彼女と一緒に暮らすのだった。本作はバングラデシュからの独立戦争を背景としている。レハナは戦争の被害を背負った存在で、恋愛ドラマに見える作品の背景にあるテーマを浮き彫りにする。

監督：モルシェドゥル・イスラム
出演：リアズ、ショハナ・シャハ 日本語・英語字幕付き
2006年 / 35ミリ / カラー / 123分 / バングラデシュ

11 **16** **日** 11:00 **金** 14:00

わが友ラシエド

My Friend Rashed



1970年の学校に変わった少年が転校してくる。彼はラシエドと呼ばれ政治に詳しく、当時独立運動が盛り上がり、西パキスタンは軍隊を派遣し鎮圧しようとする。ラシエドと親友になったイブは解放軍の手助けをする。バングラデシュが独立する71年直前の様子を子どもたちの視点から描いた作品。物語はイブの回想として描かれ、美しい祖国とともに彼の心にラシエドが生きていることが描かれる。

監督：モルシェドゥル・イスラム
出演：チョウドリ・ザワタ、アフナン、ラヤン・イブデシャム、チョウドリ 日本語・英語字幕付き
2011年 / 35ミリ / カラー / 100分 / バングラデシュ

14 **18** **水** 11:00 **日** 11:00

土曜の午後

Saturday Afternoon



バングラデシュの首都グッカ。あるレストランがイスラム教過激派に占拠される。観光客などを人質にとった過激派たちは、イスラム教徒でない者を殺害していく。2016年7月に実際に起きたテロ事件を題材とした映画。実際の事件では日本人7人を含む22人が殺害された。ショッキングな内容を緊迫感あふれるワンカット映像で描いた作品。アジアフォーカス・福岡国際映画祭で観客賞第2位を受賞。

監督：モストファ・サルフル・ファルキ
出演：シャヒド・ハサン、ボロムブドロー、チャテルジー 日本語・英語字幕付き
2019年 / デジタル / カラー / 86分 / バングラデシュ=ドイツ

風流 監督：粟津潔
1972年 / 16ミリ / カラー / 11分

アゾート 監督：中井恒夫
1973年 / 16ミリ / カラー / 14分

プログラム4 1973年～1975年(93分)

22 **25** **木** 14:00 **日** 11:00

モナ・リザ 監督：松本俊夫
1973年 / 16ミリ / カラー / 3分

MIMESIS 監督：吉崎克美
1973年 / 16ミリ / カラー / 6分

IOSEC 監督：榎本了吉
1973年 / 16ミリ / モノクロ / 8分

AT YUKIGAYA2 監督：出光真子
1974年 / 16ミリ / モノクロ / 11分

新北帰行 監督：かわなかのぶひる
1974年 / 16ミリ / カラー / 15分

メモリー-7 監督：萩原朝美
1974年 / 16ミリ / モノクロ / 14分

杏梨と小夜子 監督：沢渡朔
1974年 / 16ミリ / モノクロ / 3分

人工の楽園 監督：田名網敬一
1975年 / 16ミリ / カラー / 14分

DESネットワーク 監督：中島崇
1975年 / 16ミリ / カラー / 14分

LE CINEMA(映画) 監督：奥山順市
1975年 / 16ミリ / モノクロ / 5分

プログラム5 1975年(90分)

23 **25** **金** 11:00 **日** 14:00

STONE 監督：相原信洋
1975年 / 16ミリ / カラー / 11分

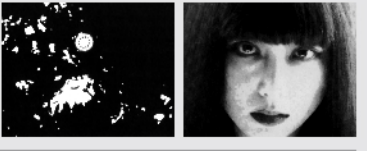
STONE NO1 監督：相原信洋
1975年 / 16ミリ / カラー / 5分

日没の印象 監督：鈴木志郎康
1975年 / 16ミリ / モノクロ / 23分

O 監督：広瀬忠司
1975年 / 16ミリ / カラー / 9分

迷宮譚 監督：寺山修司
1975年 / 16ミリ / モノクロ / 16分

コーヒーを飲む 監督：渡辺哲也
1975年 / 16ミリ / モノクロ / 16分





ドキュメンタリー作家二人展

1木	11:00 ある機関助士、留学生チュアスリン	14:00 水俣 患者さんとその世界
2金	11:00 ゆきゆきて神軍	14:00 全身小説家
3土	11:00 ある機関助士、留学生チュアスリン	14:00 不知火海
4日	11:00 ゆきゆきて神軍	14:00 水俣 患者さんとその世界
5月		休館日
6火		休映日
7水	11:00 不知火海	※14:30 全身小説家

バングラデシュ映画の世界

8木	11:00 車輪	14:00 転校生ディプー
9金	11:00 根のない樹	14:00 苦難の大地
10土	11:00 ぼくはひとりぼっち	14:00 ラロン
11日	11:00 わが友ラシェド	14:00 人形の家
12月		休館日
13火		休映日
14水	11:00 土曜の午後	14:00 ラロン
15木	11:00 ぼくはひとりぼっち	14:00 人形の家
16金	11:00 車輪	14:00 わが友ラシェド
17土	11:00 根のない樹	14:00 転校生ディプー
18日	11:00 土曜の午後	14:00 苦難の大地

19月 休館日

20火 休映日

実験映画コレクション展

21水	11:00 プログラム1	14:00 プログラム2
22木	11:00 プログラム3	14:00 プログラム4
23金	11:00 プログラム5	14:00 プログラム1
24土	11:00 プログラム2	14:00 プログラム3
25日	11:00 プログラム4	14:00 プログラム5

26月 休館日

27火▶29木 休映日

30金 休館日

COLUMN

モルシェドウル・イスラム監督

1958年ダッカ生まれ。ダッカ大学で薬学の学士・修士を修める。バングラデシュ・フィルムセンターが主催する映画鑑賞コース、およびその上級コースに参加後、新たな映画運動を牽引する存在となる。85年にバングラデシュの解放闘争を扱った最初の短編『これから』を監督し、インド映画祭で銀の孔雀賞を受賞する。また93年には長編の『車輪』がマンハイム国際映画祭で国際批評家賞および審査員賞を受賞、一躍注目を浴びた。

バングラデシュでは年間65本から70本程度の映画が製作されているが、そのほとんどは娯楽作品であり、真摯な作品は年間1～2本程度しかないと言われていた。そういう国で、商業映画とは一線を画して、質の高い作品を作り続けているのがモルシェドウル・イスラム監督である。彼は映画協会を組織して、クロサワ、フェリーニ、ゴダールな



ど世界の傑作を上映することから始め、のちに映画作りに進んだ。最も影響を受けたのはクロサワの『羅生門』とサタジット・レイの『大地のうた』であると言う。

INFORMATION

■映像ホール利用申し込みについて

映像ホール・シネラは自主上映(非営利に限る)を希望される方について、下記のとおり申し込みの受付を行います。

利用申込対象期間 / 2023年12月～2024年5月

※別途配布の申込用紙に対象日を記載しています

申込受付期間 / 5月21日(日)～6月9日(金) ※休館日除く

抽選日 / 6月17日(土)午前11時より

抽選会場 / 福岡市総合図書館3階 第5研究室

利用申込書 / 福岡市総合図書館で配布中の申込用紙をおください

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-la

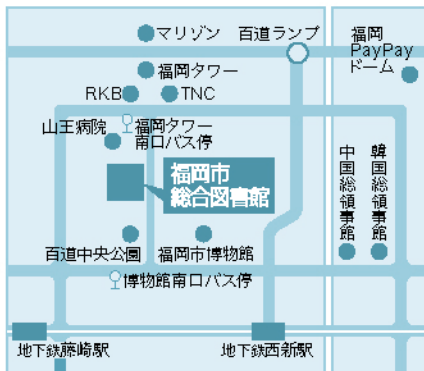
福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表) Tel.092(852)0600 Fax.092(852)0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>



交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

市営地下鉄

西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

西鉄バス

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分

○所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については、西鉄お客様センター(電話0570-00-1010)に直接お問い合わせください。

助成:



発行:映像ホール・シネラ実行委員会

100%再生紙印刷しています。